

令和 2 年 3 月 31 日

平成 31 年度 地域貢献活動支援報告書

社会連携研究センター長 殿

所 属 地域人材教育開発機構
氏 名 織田 拓

活動テーマ	津市美杉地区における、伝統文化の継承
実施期間	令和 元年 10 月 1 日 ～ 令和 2 年 3 月 31 日
活動内容	(1) 具体的な活動実施内容 地域で「幻の銘菓」とされる「榎太郎生」の製造方法の記録及び 400 年続く地域の祭り「ごんぼ祭り」への協力。 (2) 地域への貢献（地域の発展・活性化への寄与，広がり） 「榎太郎生」は製造方法が非常に煩雑で、商品を作るには時間と根気が必要な地域特有の銘菓である。この銘菓を 60 年以上作り続けてきた奥村氏ももう高齢で、昨年度を最後に製造を辞めた。また、製造方法については口伝えであり、後継者もないことから誰も作れなくなってしまった。今回はその地域特有の伝統である銘菓を後世に残し、必要であれば作ることが出来る様なレシピを作成することを目的とした。 また、神輿の担ぎ手が不足している地域のお祭りについて、調査と祭りへの参画を行った。 (3) 共同実施者との連携状況 今回は、奥村氏との連絡、「ごんぼ祭実行委員会」への連絡を津市地域振興課に仲介して頂いた。またレシピの保存についても依頼を行った。

(4) 大学の教育・研究成果のかかわり

奥村氏の指導の下、三重創生ファンタジスタクラブ（以下、MSFC）のメンバーと共に人海戦術で行った。実際に手を動し、一連の作業をすることで、MSFCの学生達も昔ながらの菓子製造について、手間と苦労について時代背景も含めて実感することが出来た。

(5) イベント等開催実績（名称，実施場所，参加人数等）

ごんぼ祭り：津市美杉町下之川 仲山神社

参加人数 200 名

(6) これまでの取組みによって得られた具体的な成果について

出来た銘菓を、地域に配ったり、自分たちで食べることで無形であった銘菓の情報から、有形の資料として利用する事が出来た。

○「榎太郎生」の製造の様子



○ごんぼ祭りの様子

